

新どさんこレポート vol.11

テーマ：コロナ禍における北海道民の意識

北海道民の“新しい生活様式”への理解度は高め。
 第三波への不安も経済停滞への不安も9割。
 終息予測時期は、1年以上先が7割と長期戦も覚悟の様子。



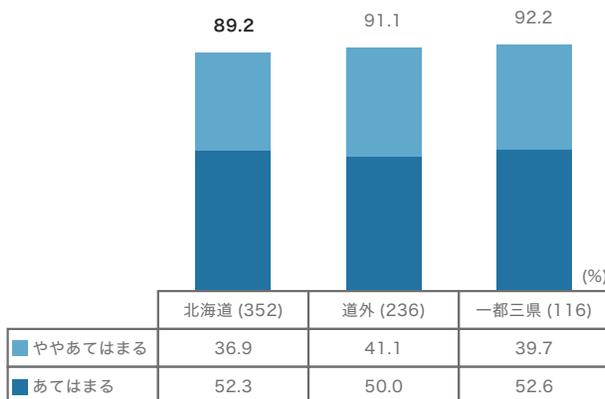
北海道博報堂「新どさんこ研究所(新ど研)」では、生活者を取り巻く環境の変化にともない、道民意識や行動も変わっていくという仮説のもと、「一歩先の道民=新どさんこ」の姿を生活者データの分析や未来予測から提言していきます。

今回のレポートは、長期化する新型コロナウイルス感染の影響下において、道民がどのような意識で向き合っているかを、5月下旬に独自調査したデータを交えながらご紹介します。

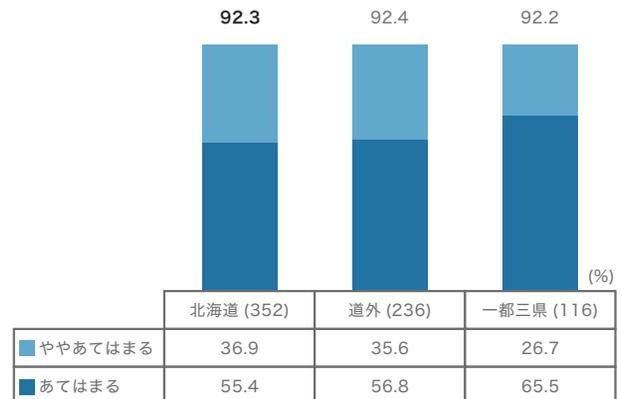
① 感染再拡大と経済停滞への同時不安

Q. 新型コロナウイルス感染拡大を受け、次のような意見があります。それぞれについて、あなた自身のお気持ちや行動に最も近いものをお答えください。(あてはまる・ややあてはまる・あまりあてはまらない・あてはまらない)

感染拡大の第二波、第三波に不安を感じる



経済の停滞に不安を感じる



※ 5月25日に北海道と同時に解除となった一都三県(東京都・千葉県・埼玉県・神奈川県)との比較を参考として掲出しています。

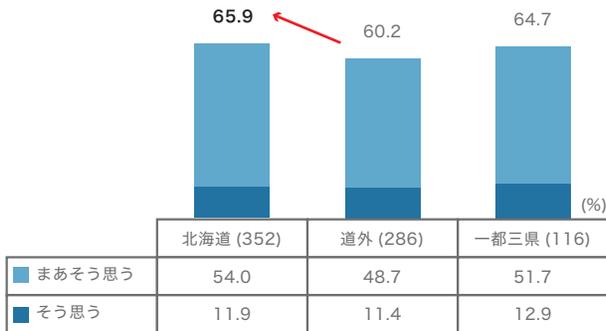
北海道で、感染拡大第2波・第3波への不安は89.2%、道外では90%を超えています。同時に、経済の停滞に対する不安も北海道で92.3%となっており、感染拡大と経済停滞への懸念が等しいレベルで最大化しています。



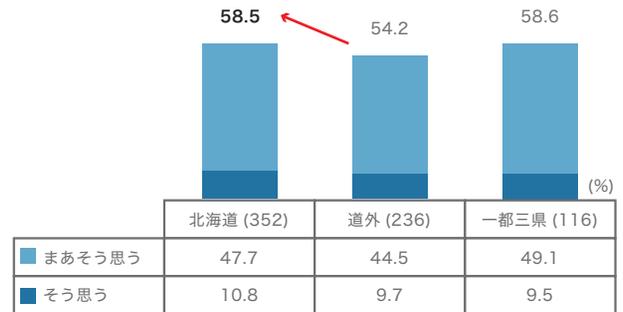
“新しい生活様式”へ一足早く取り組む道民

Q. 新型コロナウイルス感染拡大の影響について、以下の項目であなたが思うことをお知らせください。
(そう思う・まあそう思う・あまりそう思わない・そう思わない)

“新しい生活様式”について理解している



“新しい生活様式”を取り入れている



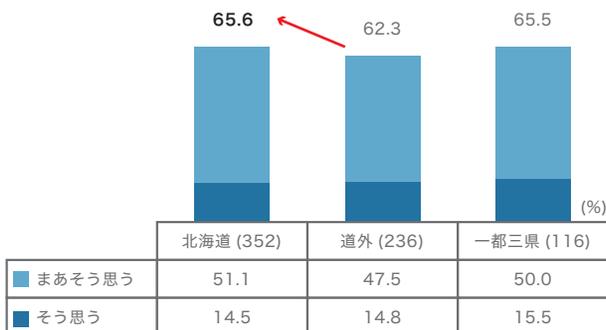
北海道で、「新しい生活様式」について「理解している」人は65.9%と道外の60.2%より高くなっており、また「取り入れている」道民も58.5%と道外の54.2%より高めとなっています。長期の自粛生活で、既に適応しつつある様子。一都三県でも高い傾向となっており、緊急事態宣言が5月25日まで継続していたことが影響していると考えられます。



終息時期は、7割以上が1年以上と予測

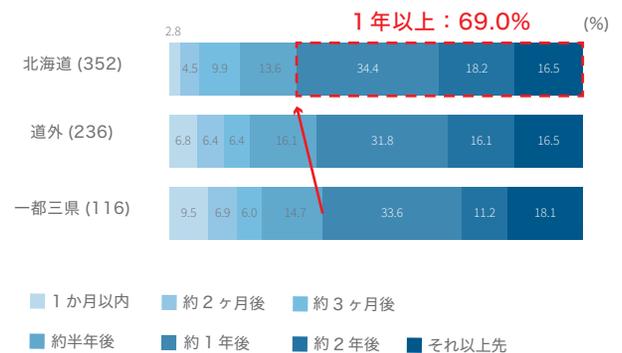
Q. 新型コロナウイルス感染拡大の影響について、以下の項目であなたが思うことをお知らせください。
(そう思う・まあそう思う・あまりそう思わない・そう思わない)

緊急事態宣言が解除されても自粛生活は変えないつもり



Q. あなたは、日本国内で新型コロナウイルス感染症が終息する時期は、いつ頃になることを想定・予想していますか。あてはまるものを一つお選びください。

日本国内における終息の予想時期



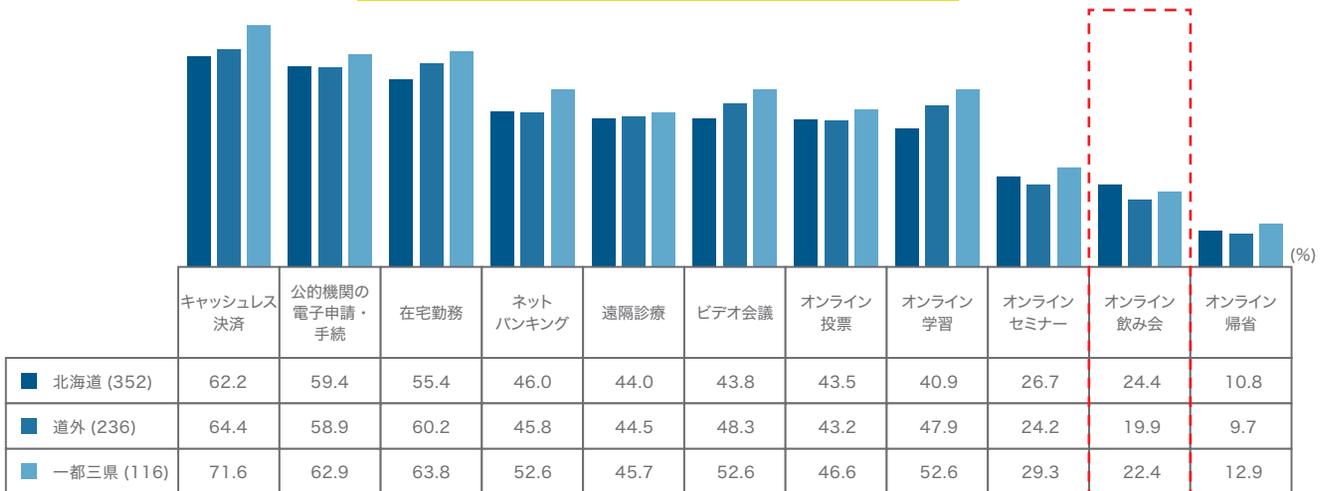
緊急事態宣言が解除されても、これまでの自粛生活を変えないという道民は65.6%と道外よりもやや高い傾向です。そして、国内の終息時期の予測としては「約1年後」が最多で34.4%。次いで「約2年後」が18.2%、「それ以上先」が16.5%と1年以上と考える人が69.0%となっています。これは、道外・一都三県在住者よりも長期化の予測となっており、長い目線で取り組む覚悟をしているとも考えられます。

4

今後のオンライン化への期待は、 キャッシュレス・公的機関の手続き・在宅勤務

Q. 新型コロナウイルスの影響により、あなたが今より世の中に普及していくと考えるデジタルサービスについてお知らせください。(いくつでも)

普及していくと思うデジタルサービス



今後世の中に普及していくと考えるデジタルサービスは、北海道ではキャッシュレス・公的機関の電子申請・手続き・在宅勤務が5割を超えて高い結果となりました。但し、道外よりもスコアは低めな傾向。唯一、「オンライン飲み会」はやや高めで、遠く離れた家族や友人とのコミュニケーション機会として期待しているようです。



調査目的：北海道民が新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて、

どのような意識や行動をとっているかを把握し、今後の研究やマーケティング活動へ活かす。

調査概要：ウェブ調査

調査期間：2020年5月22日～23日

調査対象：道内外在住の男女18～69才

サンプル数：588サンプル（北海道352サンプル・道外236サンプル）

調査企画：(株)北海道博報堂新どさんこ研究所（調査会社：株式会社マクロミル）

・HAKUHODO・
北海道博報堂

新ど研

新どさんこ研究所

北海道博報堂「新どさんこ研究所」（新ど研）とは？

北海道民の今の姿をデータで明らかにしながら、「一歩先の北海道民＝新どさんこ」と定義して、その変化を予測・提言する（株）北海道博報堂が設立した研究組織。



所長

山岸 浩之 Hiroyuki Yamagishi

2014年北海道博報堂入社。

コミュニケーション戦略局長兼マーケティング部長として、北海道の様々なクライアントの戦略立案やリサーチを担当。

お問い合わせ先

株式会社北海道博報堂
コミュニケーション戦略局マーケティング部
新どさんこ研究所
☎011-251-0178 / ✉shindoken@hakuhodo.co.jp

公式 HP

<http://shindoken.com/>

過去のレポートはこちら！

